

日本人ジャーナリスト欧州招聘事業 派遣学生募集について

主催：ロバート・ボッシュ財団

共催：ベルリン日独センター、早稲田大学

事業趣旨

ロバート・ボッシュ財団は日本におけるドイツ・ヨーロッパ関連の報道を促進することを目指し、2012年3月に第3回「日本人ジャーナリスト欧州招聘事業」を実施します。本事業では日本のジャーナリストをベルリンおよび欧州内の別の都市に招待し、最新テーマに関する取材活動を行なっていただきますが、初回2008年度は「地球温暖化」、2回目の2010年度は「未来を築く——国際競争におけるイノベーション」をテーマにともにベルリンとブリュッセルで併せて五日間のプログラムを実施、好評を博しました。

プログラム

ベルリン日独センターの協力を得て実施する2012年度のプログラムのテーマは、「エネルギーの安定供給」です。ドイツをはじめとするヨーロッパのエネルギー政策の現状、2011年3月の福島原発事故後のドイツのエネルギー政策の変遷、日独のエネルギー政策の比較、エネルギー安全保障に対する両国社会の関心、などさまざまな問題を五日間かけて多角的視点から取材していただきます。初日は専門家を招聘するエネルギー・シンポジウムをベルリンで開催します。二日目および三日目は政界、経済産業界、学界、報道界の代表者とのミーティングを設定します。さらに、ドイツあるいはドイツ以外のエネルギー事業者の視察も予定しています。四日目および五日目は各ジャーナリストの個別取材に充てます。また、プログラム参加の準備として、日本出発前に早稲田大学大学院公共経営研究科において事前研修セミナーを開催します（2012年2月24日を予定）。

対象者

- ・ 募集総数12人
そのうち6人は早稲田大学が選出する早稲田大学大学院公共経営研究科在籍学生
他の6名はロバート・ボッシュ財団とベルリン日独センターが協力して募集する経験豊富かつ熱心なジャーナリスト
- ・ 年齢制限はありません。
- ・ 全プログラムを通じて語学面でのサポートが付くため、ドイツ語・英語能力は問いません。
- ・ プログラム後半の個別取材の取材先を手配するため、事前に各自の取材テーマをお知らせ下さい。
主催機関は、本取材内容が帰国後に何らかの形で公表されることを望みます。

開催期間および開催地

- プログラム実施期間：2012年3月19日から23日まで ※事前研修（2月24日予定）への参加必須
- スケジュール：日本発3月18日、同日ベルリン着、ベルリン発24日、日本着25日
※ 大学院の学位授与式が3月25日に行われるため、2012年3月修了予定者は1日早く帰国することが可能です。
- 場所：ベルリンおよび欧州内の別の一都市

参加費用

日独間往復渡航費、プログラム期間中のヨーロッパ内交通費、宿泊費、食費、市内交通費は全額ロバート・ボッシュ財団が負担します。また、事前研修セミナー出席のための国内交通費および東京での宿泊費も支給します。

応募要領

応募者多数の場合は、公共経営研究科にて応募書類をもとに書類選考を実施いたします。派遣推薦者は2012年1月末に公共経営研究科ウェブサイトにて発表いたします。

<提出書類>

提出書類はPCで作成してください（手書き不可）。

- ① 登録用紙：公共経営研究科ウェブサイトよりダウンロードし、必要事項を日本語で記入してください。
- ② 応募者略歴：書式自由、A4で1枚程度。
- ③ 志望理由書：書式自由、A4で1枚程度。

提出先：公共経営研究科事務室

提出方法：okumaschool@list.waseda.jp 宛てにメール添付にて提出。

提出締切：2012年1月24日 17:00 <締切厳守>

※ プログラムに関するその他の情報は www.bosch-stiftung.de/journalists-to-germany をご覧ください。

以上

2012年1月18日
公共経営研究科事務室